



広報

とみおか

2

No.604



未来への希望を胸に―成人式

祝平成25年富岡町成人式

186人の新たな門出

平成25年富岡町成人式が1月13日、ベルヴィ郡山館で開催されました。

当日は、華やかな着物やスーツ姿の新成人128人が全国各地から郡山市に集合し、再会を果たしました。

式典では、はじめに出席者全員で国家を斉唱。遠藤町長が「今後、より一層知性を磨き心身を練磨し、社会人としての自覚と責任を備えた若人として、真実一路に自らの人生を切り拓いていかれるよう

願っております」と式辞を述べ、新成人代表の相沢賢吾さん(富一中卒)に成人証書が手渡されました。

来賓祝辞に続き、新成人を代表して根本佳奈さん(富二中卒)が「富岡町の再生のために、自分たちができることを模索し、一步一步着実に社会人として歩んでいきたいと思

います」と感謝の言葉を述べ、社会人としての決意を新たにしました。

の渡辺俊美さん(猪苗代湖ズ)によるミニコンサートが行われ、「I love you & I need you ふくしま」や、ふるさと富岡への郷愁を歌った「夜の森」のメロディーに、新成人の皆さんは故郷の風景を思い出し出している様子でした。

コンサート終了後に開催された懇親会では、久しぶりの再会を喜び合いながら、時間を忘れ懐かしい思い出を語り合っていました。



富岡一中出身及び富岡地区のみなさん

「故郷を取り戻すために」



相沢賢吾さん

成人式を迎えた事で私達は無事、新成人としての大人の仲間入りを果たしました。地元である富岡町で成人式を行う事は叶いませんでしたが、多くの同級生が同じ場所に集い、この栄えある日を共に祝う事が出来、感謝の気持ちで

いっぱいです。思えば、あの東日本大震災からはや2年が経とうとしています。震災当初は、事の重大さを知らずに何気なく避難生活を送っていた私も、今こうして故郷の富岡町に帰る事が困難な状況に直面して、将来に対して深く考えさせられました。現在、私が避難しているいわき市の駅前では、復興への願いを込め、夜ノ森の桜並木をモチーフとしたライトアップがされており、それを観ると、綺麗なはずな

のに、一時帰宅で見た変わり果てた富岡町を思い出し、しまい、何とも切ない気持ちに駆られます。しかし、富岡町民として成人を迎えた以上、本物の桜並木を取り戻すために、私達も一人一人が今出来る事を真剣に考え、行動しなければいけないと思います。簡単な事ではありませんが、故郷への思いを強く持ち続け、あきらめない気持ちで、一歩ずつ前へ進んでいきたいと思

「成人を迎えて」



根本佳奈さん

7月で二十歳になり、先日の成人式を迎えました。久しぶりに会う富岡町の同級生とは、震災当日のこと、思い出話やそれぞれの近況など、話が尽きませんでした。

私は現在、美術の勉強をしており、これからもその知識

を深めていきたいと考えています。大きな節目である成人をむかえ、自分自身の行動に責任を持ち、今まで以上に一生懸命学問に取り組んでいきたいです。また、より一層人生を楽しめるような趣味を見つけ、自分自身を見つめることで成長していきたいと思っています。大学に入って美術館に足を運ぶようになったり、知らない人との関わる機会が増え、

技能や知識の足りなさを実感する日々です。成人式で、同じ学生や、働いている友達と話し、自分自身の生き方を考えることに前向きになることができましたように思います。今まで経験したことのないような苦労や悩みがあるかと思いますが、社会人として何事にも真摯な態度で向き合い、これからの日々を充実したものにしていきたいです。



富岡二中出身及び夜の森地区のみなさん



所得税と町・県民税申告相談

日時／2月18日(月)～3月15日(金)

もつすべ確定申告です。書類等の準備はお済みですか？町で行う平成24年分の所得税と町・県民税の申告相談が2月18日から始まります。所得税の申告期限は延長となっておりますが、今年も昨年と同様に、郡山市、いわき市、三春町、大玉村の4会場で受付を行いますので、この機会にご相談ください。

申告が必要な人

- 申告が必要な人は、平成25年1月1日現在で本町に住所があり、次に該当する人です。
- 給与・年金等の収入があり、年末調整をされていない人
- 営業・農業・不動産等の収入があった人
- 一時所得(生命保険の満期返戻金など)・配当所得(株式の配当など)があった人
- 還付をうける人

申告に必要なもの

- ①所得に関するもの
 - 給与や年金の収入がある人
平成24年分の給与所得・公的年金等の源泉徴収票(平成24年中に退職した人は退職所得源泉徴収票)／東京電力からの就労不能分の明細
 - 農業所得がある人
年間収支計算内訳書／農産

②控除に関するもの

- 生命保険料控除を受ける人
生命保険料／個人年金保険料／介護医療保険料の支払証明書
- 社会保険料控除を受ける人
平成24年中に支払った国民健康保険料、国民年金、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の支払い証明
- 生命保険料控除を受ける人
生命保険料／個人年金保険料／介護医療保険料の支払証明書
- 社会保険料控除を受ける人
平成24年中に支払った国民健康保険料、国民年金、介護保険料等の支払い証明
- 地震保険料控除を受ける人
地震保険料／旧長期火災保険料の支払証明書
- 医療費控除を受ける人
病院・薬局等で発行する領収書
- 障害者控除を受ける人
身体障害者手帳／精神障害者保健福祉手帳／療育手帳／介護保険被保険者証／障害者控除対象者認定証
- 住宅借入金等特別控除を受ける人
源泉徴収票(給与・年金所得者の場合)／家屋の登記簿(謄抄)本／住民票の写し／工事請負契約書又は家屋の売買契約書の写し／建築確認通知書又は検査済証の写し(増改築等の場合)／住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書

その他

- 東京電力の補償について課税となるもの
 - 就労不能に伴う損害(休業補償)対価性がないため一時所得に該当
 - 営業損害(農業、不動産も含む)そのまま事業所得の収入金額と除して所得が発生すれば課税
 - 検査費用
 - 業務用資産等に対するものは収入金額となるが追加的費用(必要経費)と相殺
 - 財物価値の減少等
 - 棚卸資産に対するものは事業所得の収入金額となるが必要経費を控除し所得が発生すれば課税
- ※農業、不動産、営業など賠償金の支払いを受けた明細をお持ちください。
- 平成22年・23年分の申告について
平成22年・23年分が未申告の方についても、合わせて申告することが可能です。できるだけ必要書類をお持ちいただくようお願いいたします。(災害により必要書類が不足する場合も記憶を元にある程度ノート等にまとめていただくようお願いいたします)

重要なお知らせ

①平成22年～24年分の所得税の確定申告は、申告期限が延長されています。この制度を利用し、未だ確定申告がお済みでない場合、同時に住民税等の課税が延長されるため、所得証明書・課税証明書等の発行はできません。

所得証明書等は各自治体や保育所入所、大学進学等で提出を求められることがあります。

各証明書等の発行を必要とする場合は、この機会にご相談ください。

②東京電力の就労不能、農業、不動産、営業の補償について包括請求をした場合、それぞれ該当年の収入に割り振るようになりますが、東京電力との合意が25年中になつた場合、24年分と25年分が平成25年分の収入となります。

また、包括請求より前の補償については、合意した日が収入とみなされることとなります。これにより、所得税等の課税額が多くなり、扶養から外れる場合もありますのでご注意ください。

申告相談日程表

月 日	受付場所 (時間は各場所とも9:30～15:30)
2月18日(月)	大玉出張所
2月19日(火)	大玉出張所
2月20日(水)	-
2月21日(木)	三春出張所
2月22日(金)	三春出張所
2月25日(月)	郡山事務所
2月26日(火)	郡山事務所
2月27日(水)	郡山事務所
2月28日(木)	郡山事務所
3月1日(金)	郡山事務所
3月4日(月)	郡山事務所
3月5日(火)	郡山事務所
3月6日(水)	-
3月7日(木)	いわき出張所
3月8日(金)	いわき出張所
3月11日(月)	いわき出張所
3月12日(火)	いわき出張所
3月13日(水)	いわき出張所
3月14日(木)	いわき出張所
3月15日(金)	いわき出張所

あなたの自動車は正しく登録されていますか

自動車税は、毎年4月1日(午前零時)現在で、自動車を所有している方(割賦購入の場合は使用者)に課税されます。自動車を下取りに出したり、他人に譲り渡したり、廃車した場合には、3月末までに必ず運輸支局で名義変更や抹消登録の手続きをお願いします。これらの手続きが遅れた場合には元の所有者に課税されることとなります。

また、自動車税の納税通知書は運輸支局に登録されている住所に送付されます。町役場で住所変更の手続きをしても、自動車検査証の住所は変更されませんので住所が変わったときには、速やかに運輸支局に変更登録の手続きをしてください。

なお、原子力災害等により一時的にお住まいを異動されている方は、必ず郵便局へ転送届けを提出してください。

問い合わせ先一覧

問い合わせ内容	問い合わせ先	電話番号
登録手続きに関するお問い合わせ先	国土交通省東北運輸局福島運輸支局	050(5540)2015
	いわき自動車検査登録事務所	050(5540)2016
登録手続きの代行に関する問い合わせ先	南相馬自家用自動車組合	0244(23)2850
上記以外の自動車税に関する問い合わせ先	福島県相双地方振興局県税部	0244-26-1127



平成25年度 町臨時職員登録のご案内

町では、必要に応じ臨時職員登録者の中から各種補助員として雇用しています。希望される方はお申込みください。

なお、雇用期間は不確定となります。

▼職務内容

一般事務（word、Excelが出来る方）、避難者支援業務

▼雇用期間

6ヶ月以内（ただし、必要と認めるときは更新可能）

▼職務時間

町職員の勤務時間に準じます。

中小企業等グループ向け復興・復旧支援事業について

福島県では、東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興を目指す中小企業向けの補助・融資・雇用支援制度を実施しておりますが、申請期間を平成25年2月28日（木）まで延長することになりました。制度内容等の変更はありません。各種相談窓口も設置されており、お気軽にご相談ください。

(1) 空き工場・空き店舗等による事業再開支援事業

・概要
空き店舗等を借りて事業再開・継続する中小企業等の支援事業

・支援内容

店舗借上費用・設備の移設費用・店舗改装費用・代替設備の借上費用の一部補助（原状復帰するための経費に限る）

・補助率

【全壊・警戒区域等】
補助対象経費の4分の3以内

ただし、職務により勤務時間が異なることがあります。

▼申込手続き

市販の履歴書に必要事項を記入のうえ、総務課に郵送又はご持参ください。

※履歴書の現住所欄に住民登録のある住所、連絡先欄に避難先住所を記載してください。

▼申込期間

2月5日（火）から2月22日（金）まで（土日、祝日を除く）
郵送の場合、2月22日当日消印有効。

■総務課総務係

県民健康管理調査「甲状腺検査」説明会が開催されます。

福島県と福島県立医科大学では、現在実施している甲状腺検査の内容、甲状腺に関する医学的特徴等を紹介・説明することで甲状腺検査の理解促進を図り、小児甲状腺がんに対する不安を軽減することを目的として県民健康管理調査「甲状腺検査」説明会を開催します。

参加予約は不要ですので、説明会当日直接会場にお越しください。

なお、駐車場には限りがありますので、ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

▼開催日程

- ・2月10日（日）
二本松市安達文化ホール
13時30分～15時30分
- ・2月24日（日）
白河市文化センターホール
14時30分～16時30分
- ・3月10日（日）
伊達市保原市民センター
13時30分～15時30分
- ・3月24日（日）
会津大学講堂
13時30分～15時30分

▼対象者

甲状腺検査の対象となる方及びその保護者

▼内容（予定）

- ・甲状腺についての基礎知識と甲状腺検査の目的
- ・甲状腺検査の実際
- ※検査の実演若しくはVTR上映
- ・甲状腺検査の結果について
- ・質疑応答

【半壊】

補助対象経費の2分の1以内
補助金額
25万円以上50万円まで（製造業者は50万円以上2,500万円まで）

(2) 工場店舗等再生支援事業

・概要

県内において店舗の建替・購入・修繕して事業再開・継続・被災時の従業員数を維持することの要件を満たす中小企業等の支援事業

・支援内容

店舗の建替・購入・修繕費用の一部補助（原状復帰するための経費に限る）

・補助率

※土地購入・造成費用は対象外
補助率
補助対象経費の3分の1以内
補助金額
50万円以上500万円まで（製造業者は100万円以上3,000万円まで）

(3) 産業復興支援事業

・概要

被災時の従業員数が100人以上であり、被災時の従業員数の8割以上の雇用

参加予約は不要ですので、説明会当日直接会場にお越しください。

なお、駐車場には限りがありますので、ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

▼開催日程

- ・2月10日（日）
二本松市安達文化ホール
13時30分～15時30分
- ・2月24日（日）
白河市文化センターホール
14時30分～16時30分
- ・3月10日（日）
伊達市保原市民センター
13時30分～15時30分
- ・3月24日（日）
会津大学講堂
13時30分～15時30分

▼対象者

甲状腺検査の対象となる方及びその保護者

▼内容（予定）

- ・甲状腺についての基礎知識と甲状腺検査の目的
- ・甲状腺検査の実際
- ※検査の実演若しくはVTR上映
- ・甲状腺検査の結果について
- ・質疑応答

い平成23年3月28日から平成23年12月末日まで、生活支援金の貸付（1人2万円）を実施していましたが、支援金は貸付期日から1年以内にご返済いただくこととなっております（平成24年12月末現在の返済人数1,193人）。

返済方法は、富岡町役場郡山事務所出納室へご持参いただくか、左記口座にお振込みください（振込み手数料は自己負担となります）。

▼口座振込みによる返済

銀行名 東邦銀行富岡支店
口座番号 253
名義人 富岡町会計管理者
※振込みの場合、備考欄に「貸付金返済」とご記入ください。

▼納付書による返済

町指定の金融機関をご利用の場合は、納付書による返済が可能ですのでご相談ください（手数料は無料です）。

■出納室

富岡町生活支援貸付金の返済について

町では、東日本大震災に伴

- ☎024-521-7280
商業まちづくり課（卸売・小売業）
- ☎024-521-7299
商工総務課（サービス業他）
- ☎024-521-7270

犬・猫の不妊・去勢手術費用の一部助成について

緊急災害時動物救援本部では、避難先で暮らす犬や猫の不妊・去勢手術費用の一部助成を行っております。なお、助成は先着順となっており、予定額に達した時点で受付終了となりますので、ご了承ください。

▼助成額

- ・オスの去勢手術費用の補助
1頭につき5千円
- ・メスの不妊手術費用の補助
1頭につき1万円
- ※一世帯につき、犬・猫合わせて3頭まで。

▼実施期間

平成25年3月末まで

▼申込方法

申請用紙（町ホームページ【災害版】（カテゴリー：生活支援・絆情報）からダウンロードができます。）に必

富岡町の明日を見つめて…

「第2回 咲くら・希望のつどい」開催のお知らせ

- 1. 日時 3月9日（土） 午前11時30分～
- 2. 場所 迎賓館グランプラス

福島県郡山市安積町笹川字雷堂10-3

※詳細は、2月15日発行の「広報とみおかお知らせ版」でお知らせします。

TOMIOKA

桜 通信

第10号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



私は、震災発生当時、富岡町内の建設現場にいました。揺れが落ち着くとすぐに、現場から作業員を帰宅させ自宅へと向かいました。自宅にいた妻は無事でしたが、自宅内は家財はおろか、割れたガラスが散乱しひどい状態になっていました。

行政長をしていた私は妻の無事を確認するとすぐに、行政区内を回り住民の皆さんの無事や被害状況の確認にあたることも、自宅の被害がひどい人も多かったため、集会場を避難所として開放するといった作

業にあたりました。夜になってから福島第二原発で働いていた三男が歩いて帰ってきました。その夜は、近所の皆さんと外で焚き火をして暖をとりながら過ごしました。その中に、家族や知人が福島第一原発で働いている人がおり、すでに原発の状況が危険だという話を聞かされましたが、私はそうした話を信じる事ができませんでした。

翌朝、自宅の片付けを始め、落ちた瓦をスコップで2〜3回すくい上げた時、防災行政無線で避難について広報がありました。早速、行政区内にあることを知らせにまわり、一人暮らしで移動手段を持たない高齢者の避難について役場に引き継ぐなどしていました。行政区内の避難に目処がつき、午前10時ごろ自宅を出発しようとしていましたが、妻は自宅を離れたくないと訴えました。長年暮らし、愛着のある家を離れることに抵抗があるのは当たり前なのですが、安全のためと説得し自宅を離れました。

川内村では、義母と義姉一家とともに知人宅でお世話になり、その後三春町の避難所で大熊町に住む長男一家と合流しました。そこでは、原

発の爆発のために子どもたちには安定ヨウ素剤が配られたり、義母が避難のショックのためか記憶障害や徘徊を起こすなどしたため、更なる避難を決断。3月19日、知人の情報をたよりに新潟県内へと向かい、その後大玉村の仮設住宅へと移りました。

現在、私は大玉村仮設住宅の自治会長と生活支援相談員をしています。ここには100人以上の元気な高齢者がいますが、心配なことが多いのは確かです。そうした皆さんが健康や周囲とのかかわりを続けられるようにと声かけなどの見守りをはじめとする各種の活動をしています。高齢者の皆さんから「いつ帰れる?」とよく聞かれることがあります。つらい現実と向き合う瞬間ですが、「俺が帰るとき一緒に連れて行くよ。それまで長生きしろよ。」と、せめて希望だけは捨てないでほしいという思いで言葉を返しています。本来、何もしないわけにはいかないという性格なので、誰かのために動くことはストレスにはなりません。また、妻とは和紙をかごに貼る細工「一閑張」で作品を作り続けています。いつか、この一閑張工房を夫婦で持てる日が来ればと願っています。



千葉県 富津市

木幡 洋実さん・正子さん (西原)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



私たち夫婦は、それぞれ定年を少し残り退職しました。それから10年、町の主催する催しに参加するなど、気楽で楽しい第二の人生を送っていました。

震災発生当時、私は総合スポーツセンターへ2匹の犬を連れ散歩に出掛け、妻は自宅で遅めの昼食をとっていたところでした。大きく長く何度も繰り返し返す揺れに、あわてて帰宅しました。自宅に目立った破損は見受けられませんでした。ものが散乱し、すぐに

片付けできる状態でもなく、手を付けるのは明日からと考えていました。翌朝、近所を見回すと人の姿が見当たりません。そこで避難になったことに気づきました。犬2匹を車に乗せ午前9時頃、出発しましたが、川内村に向かう道路は渋滞が激しく、途中から葛尾村に向かいました。同村で幸いにもガソリン20リットルを給油することができ、無事、避難所となったせせらぎ荘に入ることができました。しかし、葛尾村も避難対象となり、夜10時過ぎ、富岡町から避難して来た方2名を車に乗せて福島市に向かい、着いたのは午前0時近くでした。そして、2日後、埼玉県内の兄を頼り、高速道路が通行止の中、ガソリンを心配しながら国道4号線を南下しました。道中、渋滞の中、栃木県内に1泊し、2日ばかりで兄のもとに到着しました。自宅を出て以来5日間が過ぎていました。犬を連れていたため避難所に入ることができず、犬とともに車の中で寝泊まりしました。その後、一昨年の4月から、千葉県富津市に兄が所有する住宅に移り現在に至っています。避難生活を始めて以来、兄夫婦はもとより周囲の皆さんから本当に良く

して頂いています。また、関東に住む中学校時代の同級生より2度にわたり同級会を開催していただき、楽しい時間を過ごすことができ感謝しています。妻は、自らのネットワークを生かして、この地域の人たちと交流したり、庭先で花を育てるたり、同じように避難生活を送っている友人知人と連絡を取り合ったり訪ねたりしながら忙しい毎日を送っています。一時帰宅には何度か参加していますが、自宅が近くなると花丸(犬)がワンワンと吠えだします。犬も自分の家を覚えているのかと嬉しくなりませんが、一方では、もう一時帰宅はやめようかとも思っています。あの日から間もなく2年目を迎えるようとしています。現在の避難先より富岡に近いところに移りたいと思いつつ、いよいよ市内に住宅を見つけています。



福島県 郡山市

渡邊 鉄男さん (中央)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



震災発生の翌朝、白い防護服を着た役場職員から避難の呼びかけを受けました。初めのうちはよく意味が飲み込めない状態でしたが、原発の非常事態とはいっても、あくまで念のためのことと思っていました。呼びかけどおり近所の人たちとともに学びの森の集合場所に行きましたが、川内村に向かう道路は大渋滞だったため、一度自宅へと引き返しました。

私は趣味でそば打ちをしており、自

宅にはそば打ち工房がありました。私は、普段からそば打ち用に山の湧水を汲んで備蓄していたため、避難になれば、周りの人たちも食べ物に困るだろうと思いい、近所の人たちと一緒に備蓄の水と米、そして、そばを茹でるための大釜を使って、ご飯を1斗近く炊きました。結局、自宅を出発したのは午後2時過ぎ。川内村に到着したのは午後3時ごろでした。初めの避難先となった川内村では、用意してきたご飯を配ったり、そば打ち仲間が行ったそばの炊き出しを手伝ったりしました。その後、16日には同村も避難となったため、ビックパレットふくしまに移りましたが、高齢の両親のことが心配になったため、18日、東京都内に住む妻の妹のもとに向かいました。その後、東京都内や埼玉県内を経て、妻と長男は勤務先の業務再開のため、次男は通学先の授業再開のために一昨年の3月下旬までに福島県内に戻りました。私は父が入院するなどしたため、母とともに残り、同年9月、現在生活している郡山市内の借上住宅へと移りました。東京や埼玉の避難先では、趣味の

そば打ちを通して地域の皆さんと交流を図ってきました。今から十年ほど前に、そば打ちを始めました。「そばのつながりと人との出会いを求めて」震災前までそば打ち教室を開いていましたが、そば打ちとの相性が良かったせいなのか10人ほどの生徒さんが通ってきていました。また、地域のイベントでそば打ちを披露したりしていました。郡山に移ってきてからも、大晦日には自分で打ったそばを「年越しそば」として皆さんに配り、とても、喜んでいただきました。郡山での生活を始めて1年以上たちましたが、昨年1月末に父が他界しました。父は行政区長会長を10年以上務めるなど、富岡への愛着が強かったと思います。葬儀一切は滞りなく済ませ見送ったものの、父が愛した故郷に遺骨を帰してあげられないことは残念でなりませんし、仮に富岡の自宅に長期間戻れないことになり、どこかに居を構えたとしても、すでに先祖が眠る墓を簡単に移動するわけにはいきません。母は、長期化する避難と父が亡くなったことが重なり、元気が無いくことが多く心配です。

有限会社アド・プロ広芸社

TOMIOKA 桜(さくら)通信



現在の仮設社屋と大和田剛代表取締役(右上)

震災と原発事故により、地域のお客様も会社の設備も失ってしまいました。幸い、従業員と家族は無事で、震災のあった日の夜は、翌日からの復旧についていろいろと考えていましたが、翌朝からの避難で全てが真っ白になってしまいました。

川内村など県内の避難所を経て、茨城県内の親戚が所有するアパートに身を寄せました。安全だと思っていた原発事故に先の見えない不安だけが募る日々の中、事業継続断念を決断し、一昨年の3月末、連絡のとれ

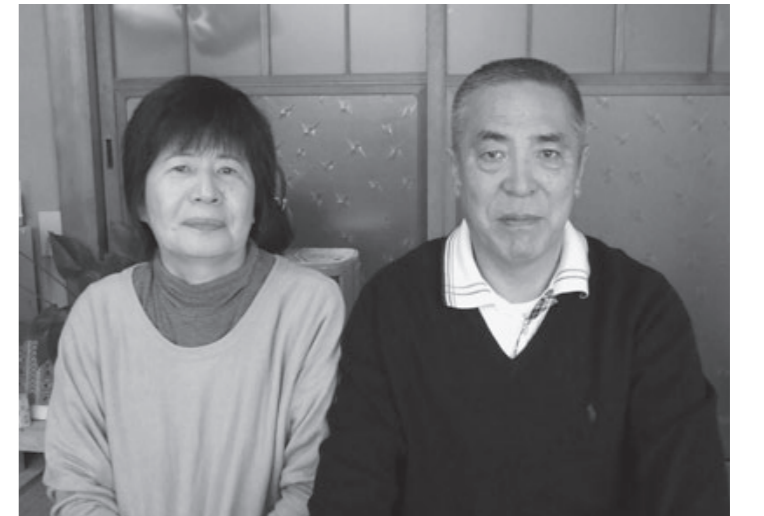
た幹部社員といわき市で会い、つらく厳しい決断をしました。その後、お客様に休業の知らせを行い、全従業員の避難先を訪ね、退職金と給与を渡し状況を説明して歩きました。従業員たちは私の決断を受け入れてくれましたが、私の中では、従業員を置き去りにしてしまつた申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

しばらく茨城におりましたが、富岡の近くに移りたいと思つていた矢先、三春町内に借上物件が見つかり、一昨年の7月、妻とともに移ってきました。その後、長年付き合いのあるお客様から、小野町内で事業を再開するための仮店舗に、看板を上げてほしいと連絡がありました。何の設備も無い中でしたが、ホームセンターでペンキなどを買い揃え、早速、手書による看板制作を行い、納品・据付を行いました。看板が上がり店としての体裁が整い、そのお客様の店が開店しました。その店と「ありがとう」というお客様の笑顔を見たとき、ぐっとこみ上げるものがありました。

近年、看板制作はコンピュータ化が進んでいたため、ペンキと刷毛で

星 喜美男さん・三起子さん(王塚)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



私たち夫婦は、南会津町の出身(私・旧館岩村、妻・旧田島町)です。結婚後、私の転勤により約35年前、富岡町に来て、この土地の人の気候の良さに惚れ込み、終の棲家としました。

私は震災発生前の3月6日から石川県に長期出張のため不在、妻は富岡町体育協会のパート職員でした。震災発生を知って妻と連絡をとろうとしましたが、電話は通じませんでした。私は飛んで帰りたい気持ちで

したが、道路も鉄道も寸断され行くに行けない状況でした。そんな中、南会津の兄とは電話が通じたため、妻と町内に住む長女一家を助けてほしいとお願いしました。

妻は震災発生翌朝、長女と孫とともに近所に住む友人の車に同乗し川内村へと避難しました。そこでその友人とは別れ、別の友人とともに14日の朝、郡山方面に向かったところ、その道中、兄と電話がつながり、兄が妻たちを出迎えに出ていることを知り、郡山市内で兄と合流し南会津の実家に向かいました。その時、震災発生以来初めて、妻と直接話すことができました。4日間ほど実家の世話になりました。その間、埼玉県内に住む妻の妹から、こちらに(埼玉に)来てはどうかと話があり、妻と長女たちはその妹のもとに向かいました。しばらくそこで世話になり、一昨年の5月から、その近所の借上住宅へと落ち着きました。

埼玉県内の借上住宅は、都内に住む娘たちとも近く、何かと安心でしたが、妻にとつて都会の生活はまさに別世界で、春がきて桜が咲いても、その桜の花すら見るのがつらいとい

う状況だったようです。そんな中、長女たちは、夫の仕事の都合もあり、一昨年の12月にいわき市へと移りました。その後、私たち夫婦も昨年4月、現在の借上住宅に移りました。

いわきで生活を始めてあと2ヶ月で1年になるうとしています。妻も私も、この土地は富岡に近いせいか埼玉とは空気が違い、落ち着くような気がしません。いわきには避難している人も多く、埼玉にいたときよりは友人知人に会う機会は増えましたが、依然として県内外各地に避難している方も多く、たまに会っても「新幹線や高速道路を使わなければお茶のみもできない」と苦笑いする状況には変わりありません。

私たち夫婦は、生まれ故郷の南会津を離れて約40年。長年その土地を離れていたせいか、故郷という実感が遠のいてしまいました。しかし、娘たちや孫は富岡で育ち、富岡が故郷です。もちろん、私たちにとつても人生の大半を過ごした富岡は故郷です。帰還への道のりは長いと思いますが、孫の成長を見守りながら、せめて「今日を笑って生きよう」そんなことを思う日々です。

〒九七九〇二〇一
いわき市四倉町芳ノ沢一五五 F9棟
電話(〇二四六)三八一九〇七七
※定休日 毎週土曜日・日曜日・祝祭日
※営業時間 午前8時30分〜午後6時30分

いわき市好間町に高齢者の生活支援拠点がオープン

富岡町として県内4ヵ所目の高齢者向け生活支援拠点となる「富岡町高齢者等サポート施設“笑顔”」がいわき市好間町にオープンし、1月9日に開所式が行われました。

式では遠藤町長が「避難生活が長期化していることで、要介護となる高齢者が増えている。関係各所のご協力を仰ぎながら一人ひとりに寄り添った支援を心がけたい」とあいさつ。式後、施設の概要が説明されました。

同施設はクリナップキャリアサービスが運営にあたり、避難生活を送る高齢者への生活相談や健康管理指導などを行うほか、富岡町民と地元いわき市民との交流の場としても、今後の利活用が大いに期待されるそうです。

☎ 富岡町高齢者等サポート施設“笑顔”

☎ 0246-38-3123

(いわき市好間町上好間字道成川原15-8)



施設外観



明るく開放的な浴室も完備

避難生活を乗り越え、健やかに暮らしていただくために —郡山に老人ホーム東風荘が開所—



施設外観



浴室



食堂兼集会室



個室

富岡町立養護老人ホーム「東風荘」(運営：仲生双葉会)が郡山市内に完成し、1月17日、開所式が行われました。

既存の東風荘は、震災の影響で再開の目途が立たないことから、福島県や郡山市など関係機関の協力を受けて建設され、今年1月7日より供用を開始しました。

開所式では、関係者によるテープカットに続き、遠藤町長が「震災時は県内各地の施設や病院に入所者を受け入れていただいた。長い間ご不便をおかけした入所者の皆さんには、これから健やかに過ごしていただきたい」とあいさつ。宮本町議会議長、原郡山市長、坂本県議会議員らが祝辞を述べました。

施設内は、食堂兼集会室や事務室などがある「セキレイ通り」、浴室や静養室などがある「つつじ通り」、個室やデイルームなどがある「さくら通り」の3フロアで構成され、入所者の皆さんが快適に生活を送れる開放的で明るい空間となっています。

☎ 健康福祉課 または
東風荘 ☎ 024-953-6464
(郡山市菜根2丁目15番15号)

私たちはずっとずっと、ふるさと富岡の仲間 —富岡町立小学生のつどい—

町教育委員会主催による平成24年度富岡町立小学生のつどいが、12月27、28日の両日、いわき市のスパリゾートハワイアンズで行われました。

このつどいは、長期の避難生活を余儀なくされている子どもたちが一同に会し、友情と絆を繋いでいくことを目的としたもので、全国から約330人の児童が参加。開会式では遠藤町長が「全国各地で頑張って成長した皆さんの姿を見て感激しています。皆さんが大人になったとき、富岡を再生する力になってほしい」とメッセージを贈りました。

児童たちは、ボランティアスタッフとして参加した千葉大学の学生らと交えてプール遊びに興じるなど、館内には賑やかな歓声が響き渡り、また、共有できなかった時間を取り戻すかのように再会を喜び合う保護者の姿も見られました。

現在郡山市に避難中の原田萌さん(富一小4年)は「久しぶりに会った友だちは背が伸びたりしていました。雰囲気はそのまま、一緒に楽しい時間を過ごせました。機会があればまた参加したいです」と語り、友だちと次の再会を誓い合っていました。



富岡町農業委員会より町内農地に関する要望書を提出

東日本大震災以降、富岡町では農業の復旧見通しが立たない状態が続いており、特に圃場については、雑草の繁茂によって除染や営農に大きな障害が出ると危惧されています。

そのため、富岡町農業委員会では昨年12月26日に「富岡町内農地に関する要望書」を町へ提出し、警戒区域の見直しに合わせて町内の農業復旧・復興に向けた取り組みを早急に進めるよう、下記のとおり支援を要請しました。



遠藤町長に要望書を手渡す中野正幸会長ら委員の皆さん

町への要望事項

1. 農地保全と営農意欲維持のため、町基金等の活用による国に先行した農地除染(草刈り等)を実施すること。
2. 農業再生のため、町独自でも実証実験等(継続事業も含める)による新たな農業構築への取り組みを行うこと。
3. 農業関係団体等からなる復興協議会(仮称)を設立し、将来の農業再生のための計画を作成すること

温かいご支援に感謝いたします 全国の皆さまより義援金を いただきました

東日本大震災により、全国の方々から町へ義援金をいただきました。いただいた善意は、今後も町の復旧・復興及び町民の皆さまのため有効に使わせていただきます。

- ・これまで寄せられた義援金
4億8,384万3,540円(12月末日現在)
- ・配分された額
2億3,994万円(同)

平成24年11月～12月に義援金をいただいた企業・団体・個人名を掲載いたします(順不同・敬称略)。
井戸川自転車店・備前商工会議所青年部・西川忠・岩淵康治・キタノマサユキ・ワイニングバーカンティネットバルベラマネージャー森勝寛・湖南省産業経済懇話会・国方敬子・三嶋正之・吉田雄二・木元久雄・福島県子ども会育成会連合会会長夏井隆一・広川賢二・オモイオモイの募金缶・柳秀直・北品川二丁目会金子正秀・佐藤大士・橋本照・株式会社ニック代表取締役社長松浦豊喜

富岡町住民意向調査 ご協力ありがとうございました

平成24年12月3日付けで、復興庁・福島県・富岡町で実施いたしました富岡町住民意向調査ですが、平成25年1月7日到着分の調査票までを対象とし、集計作業に移らせていただいております。

ご回答いただきました町民の皆様、ありがとうございました。

なお、結果はまとまり次第ご報告させていただきます。

調査対象者数	13,191人
回答者数	7,500人
回答率	56.86%

仮設住宅居住者の安全・安心を守る 南一丁目仮設ボランティア「おだがいさま隊」結成

郡山市南一丁目応急仮設住宅に入居する富岡町民と川内村民によるパトロールボランティア「おだがいさま隊(筒井康弘隊長)」の発隊式が、12月22日、同仮設住宅敷地内の高齢者支援センター「ゆふね」で行われました。

おだがいさま隊は、同仮設住宅入居者の安否確認や防犯・事故防止の啓蒙活動を行うボランティア団体で、仮設住宅のパトロール隊としては郡山市緑ヶ丘、いわき市好間町に次ぐ3番目の発足となります。

発隊式で遠藤町長は「避難当初、川内村には大変お世話になり、現在は両町村間で信頼関係が築かれている。今回、川内村の皆さんとの発隊となったが、町村民の心の安定のためにもぜひ頑張ってください」とあいさつを述べ、隊員の皆さんを激励。式のあと隊員の皆さんが仮設住宅内を見回り、住民の安全・安心のためのパトロール活動を行っていました。



住民宅をパトロール



遠藤町長から帽子とタスキの贈呈を受ける筒井康弘隊長

困難に立ち向かい、稽古に励む 富岡町少年剣道団にスポーツ大会出場激励金を交付



全国選抜国体強化大会である第43回久枝剣道大会ならびに第10回イーハトーブ花巻剣道大会に出場する富岡町少年剣道団に、12月26日スポーツ大会出場選手等激励金が交付されました。

交付式では遠藤町長から代表者2名に激励金が手渡され、選手を代表して佐藤広彩君(平三小2年)が「本日はありがとうございました。大会では精一杯頑張ります」と御礼のことばを述べ、同席した選手とともに大会での健闘を誓っていました。

◇激励金交付式に出席した選手(敬称略)

堀川 堅太(平二中3年)	坂本 一真(大玉中3年)	堀川 佳乃(郷ヶ丘小6年)
佐藤 直哉(郷ヶ丘小6年)	渡辺 茉優(中央台北小6年)	佐藤 大弥(平三小5年)
佐藤 愛唯(関本一小6年)	坂本 遥香(大山小6年)	
坂本 琢真(大山小3年)	佐藤 広彩(平三小2年)	

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

No.	測定場所	1月11日(晴れ)		No.	測定場所	1月8日(晴れ)	
		地上1m	地上10cm			地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	4.20	7.14	37	小浜住宅団地内公園前	5.73	9.77
2	上千里消防屯所	2.73	3.54	38	双葉環境センター	3.43	7.53
3	杉内消防屯所	3.41	5.31	39	NHK電波塔入口(浜街道)	6.15	8.39
4	第二工業団地入口	6.23	9.09	40	深谷集会所	8.35	8.93
5	高津戸集会所	7.33	11.30	41	赤坂神社前	9.10	12.50
6	富岡第二中学校東側	5.29	12.70	42	太平洋ブリーディング前	17.10	29.20
7	新夜ノ森集会所	8.99	12.20	43	みよし前交差点	13.50	(注)30以上
8	夜の森公園南側	3.95	8.39	44	富岡自動車学校前	9.57	18.70
9	松の前待避所	12.50	17.90	45	リフレ富岡	5.71	6.23
10	小良ヶ浜集会所	8.08	10.10	46	東洋育成園前	5.88	9.31
11	町境(小良ヶ浜地区)	10.80	11.70	47	富岡インター駐車場	6.08	7.70
12	深谷消防屯所	8.62	9.46	48	上手岡児童館	4.14	4.83
13	富岡野球場	6.32	9.22	49	下千里ライスセンター前	4.34	7.62
14	観陽亭前	1.72	3.38	50	鶴山荘前	5.38	7.27
15	富岡合同庁舎西側	4.15	4.38	51	夜の森つつみ公園	6.78	6.72
16	富岡養護学校	5.09	11.30	52	総合グラウンド東側駐車場	6.97	10.00
17	老人福祉センター	9.43	20.20	53	華の樹前	8.40	10.10
18	夜ノ森駅	8.78	9.51	54	宝泉寺前	4.24	7.15
19	王塚集会所	6.43	9.29	55	国道6号第二原発入口前	1.56	2.23
20	諏訪神社前	4.50	4.72	56	猪狩スタンド前	1.78	3.07
21	上本町消防屯所	4.03	5.43	57	なべや駐車場前	1.59	3.41
22	上本町集会所	3.39	4.02	58	大東銀行富岡支店前	3.20	4.20
23	リベラルヒルズ入口	3.69	5.74	59	富岡漁港	1.77	0.82
24	赤木集会所	2.76	4.16	60	サンライズイン富岡前	1.31	2.64
25	上郡山集会所	2.44	2.98	61	福島富岡簡易裁判所前	3.25	5.66
26	太田集会所	1.51	2.24	62	ヨークベニマル富岡店前	3.18	4.55
27	原下消防屯所	1.76	2.39	63	今村病院前	5.51	8.75
28	富岡駅	1.07	2.28	64	福島銀行富岡支店前	2.83	4.68
29	清水消防屯所	2.68	4.95	65	龍台寺前	3.12	5.34
30	役場	2.60	2.81	66	清水団地前	3.07	4.29
31	浄化センター	1.09	1.71	67	猪狩電気通信工業前	2.92	4.15
32	毛萱集会場	0.70	0.61	68	上郡消防屯所	2.69	4.07
33	富岡保育所	2.80	4.29	69	岩井戸鉱泉	1.55	2.19
34	中央児童館	3.52	4.93	70	富岡工業団地	2.12	2.45
35	栄町駐車場	2.54	3.37	71	成沢の滝入口	1.83	8.89
36	岩井戸消防屯所	2.11	2.78	72	沼名子橋	3.45	5.09

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

(注)No.43のみよし前交差点については地上10cmで30マイクロシーベルト超の測定結果となりました。

現在、町が所有する放射線測定機器は30マイクロシーベルトまでしか測定できないため、上記表示となっております。

富岡消防署からのお知らせ

消すまでは 出ない行かない 離れない

～平成24年度全国統一防火標語～

屋外での火災に注意しましょう!

◇空気が乾燥する季節

現在、空気が乾燥して全国で火災が多発傾向にあります。

特に屋外で火気の使用を実施した際、強風にあおられて火災となってしまうことが多く、いったん発生した火災は**延焼拡大する恐れ**が高いので注意が必要です。



◇乾燥注意報とは?

乾燥注意報とは、**火災の危険が大きい**と予想される場合に火災予防のために気象台が発表する注意報です。

火災発生の危険が著しく大きい場合で、一定の気象条件を満たした場合には、**火災警報を発令**して特別な厳戒態勢をとります。



◇屋外で発生しやすい火災

屋外で多発している火災の原因として、たき火等が挙げられ、火災に至る理由は次のようになります。

- ◆飛び火により他へ延焼する。
- ◆風にあおられて炎が拡大する。
- ◆自然に消えると思い放置した。
- ◆消したつもりで残っていた火種で再燃する。



富岡消防署 ☎0240-25-8563
檜葉分署 ☎0240-25-2119

連絡先一覧

- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎024-935-3345 FAX024-935-3334
- 財団法人富岡町体育協会
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-2826-0227 FAX024-961-1301
- NPO法人さくらスポーツクラブ
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字中柵31-1
大槻公民館大槻分室内
☎080-3141-0068 FAX024-961-1301
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎024-935-3332 FAX024-935-3334
- 富岡町さくらサロン
〒960-8253
福島県福島市泉字泉川15-7
☎024-557-8780
- ふくしま絆カフェ富岡
〒963-8833
福島県郡山市香久池1丁目20-27
☎024-925-2337
- 富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン
〒970-8026
福島県いわき市平字新田前6-10
☎050-3608-2864
- 富岡町生活復興支援センターいわき四倉交流サロン
〒979-0201
福島県いわき市四倉町字東2丁目115
☎0246-38-4355
- 富岡町役場郡山事務所
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX 024-961-3441
- ・富岡町役場郡山事務所分室
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字反田5-5
☎0120-33-6466 FAX024-953-6391
- 富岡町教育委員会
〒963-0107
福島県郡山市安積1丁目39-1
山口薬品ビル内(安積行政センター東隣)
☎0120-33-6466 FAX 024-945-0348
- いわき出張所
〒970-8026
福島県いわき市平字梅本15
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階
☎0120-33-6466 FAX0246-88-1975
- 三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
☎0120-33-6466 FAX0247-62-0901
- 大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
☎0120-33-6466 FAX0243-48-1147
- ・大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎0243-48-4710 FAX0243-48-4710
- 富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎0120-33-6466 FAX024-961-3441



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

発行 富岡町 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL : 0120-33-6466 FAX : 024-961-3441
E-mail : tomioka.machi@gmail.com
富岡町公式ホームページ【災害版】 <http://www.tomioka-town.jp/>
郡山駅前9番乗場発 新池下団地行きまたは 大槻行き
停留所 西の宮停留所

